令和7年度 小平市立小平第三中学校 学校評価計画表

学校教育目標 ○健康「ゆたかな心 たくましいからだ」 ○実践「進んで学び、積極性を養う」 ○協力「ひとりではみんなのために みんなはひとりのために」

目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 ●(生徒)安心して自己実現ができる学校 ●(保護者)信頼でき協力したくなる学校 ●(教職員)チームとして力を生かし、主体的に課題を解決できる学校 ●(地域)内外に開かれ地域とともに歩む学校
 【目指す生徒像】 ●生きる力をもつ生徒 ○心身を鍛錬し、自分の責任を果たすことのできる生徒(自分を考える力) ○自分の個性を伸ばし豊かに表現できる生徒(学習を考える力)○思いやりのある生徒(人を考える力)
 【目指す教員像】 ●生徒を慈しみ、良さを伸ばす。●日々研鑽に努める。●教育公務員としての使命と自覚をもち、服務規律に勤める。●保護者・地域の信頼にこたえる。●人の手本となることを銘記し、教訓とする。

前年度までの学校経営上の成果と課題

教育活動アンケートにおいて生徒・保護者の合計で肯定的回答は、学力向上関係では、79.6%、健全育成関係では81.6%、特別支援関係では69.7%、キャリア教育では75.8%であり概ね学校の教育活動に対して肯定的に捉えてもらっている。前年度よりポイントが高くなっている。特に健全育成に関する取り組みに良き成果が出ている。今後とも良き面を生かし、さらなる向上を図りたい。課題としては、学習者用端末、ICT機器などのをさらなる活用と、学校の取り組みへのさらなる啓発

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標
学力向上	●生きる力(学習を考える力)の育成 ・主体的・対話的な授業づくりに取り組むとともにICT機器の活用を図り、学びの楽しさを追求する。 ・学習者用端末を活用した授業を実施し、情報活用能力の向上を図る。また、学習アプリを活用し自主学習の推進を図る。	・個に応じた指導の充実。 ・統一した授業形態(指導方法)の実践による、より分かりやすい授業の確立。 ・主体的・対話的な深い学びの授業づくりを進め、教員の授業力を高めるとともに、発表や討論の場を設け生徒の学習活動を活性化を図る。 ・ICT機器(学習者用端末)の活用した授業を促進するとともに学習アプリの導入する。 ・学習アプリを活用した自主学習の推進。	・全教科での統一した授業形態(3中スタンダード)の実施。 ・英語で指導方法改善授業を実施、1年生の数学ではティームティーチングを実施し個別指導の充実を図り、学力の底上げをする。 ・学習者用端末利用方法などを共有し個々の授業改善に生かす。 ・学習アプリの導入し、自主学習への利用をはかる。 ・研究発表会などへの参加を推奨し内容を校内で共有する。	4 対象学級全てで実施・教員の授業チェック表から実施90% 3 教員の授業チェック表から実施80%以上 2 教員の授業チェック表から実施率60%以上 1 教員の授業チェック表から実施率60%未満 4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	4 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答90%以上 3 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答80%以上90%未満 2 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%以上80%未満 1 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%未満 4 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答90%以上 3 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答80%以上90%未満 2 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%以上80%未満 1 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%未満
	●生きる力(人を・自分を考える力)の育成 ・生徒の規範意識の向上と主体性を高める。また、学校及び家庭生活において規則正しい生活習慣を確立させ、健やかな成長を推進する。 ・自他を尊重し思いやりのある生徒の育成を図るとともにいじめやいじめを「しない」、「ゆるさない」心を育む。	教育活動全般を通し、生徒の主体的な行動や行動を通して自主性を育成する。 ・自他を尊重し、自他を認め合う、支え合う活動を取り入れる。 ・生徒会、委員会活動を通しSDGsに関連した取り組みを行う。	・行事などで生徒専門委員会を支援し、生徒の主体的な取り組みを大切にしながら落ち着いた学習環境と生活環境を整備する。 ・生徒の発想を引き出し、生徒会・委員会活動を促進させる。また、指導者による指示を段階的に少なくし、生徒の自主性を高める。 ・3中版SDGsを設定し、活動の中に生かしていく。 ・月に1回アンケートを実施し、生徒の状況把握し、複層的な視点で生徒の心情を把握するとともに指導に活用する。 ・生活指導部の組織力を高め、いじめや問題行動の情報収集と支援について共通理解を図り、早期対応、早期解決を目指す。また、道徳的心情を育む取り組みを実施する。 ・学校不適応者へ個々の状況に合わせ支援を実施する。 ・自他の安全に関する学習を進める。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満 4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	4 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答90%以上 3 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答80%以上90%未満 2 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%以上80%未満 1 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%未満 4 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答90%以上 3 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答80%以上90%未満 2 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%以上80%未満 1 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%未満
キャリア教育	●人を考える・自分を考える力の育成 ・人としての生き方を真摯に考えさせ、将来の自分の夢や進路に向け主体的に取り組むことのできる生徒を育成する。 ・自分の住んでいる地域を知り、地域を愛する心、生活の場である学校を愛する心の育成を図る。	・コミュニティスクールの利点を生かし、進路関係の取り組みにおいて地域の力を活用する。 ・地域の方々と交流を通し、自分の住んでいる地域の理解を図り、郷土愛を育む。 ・自分たちの生活の場である母校大切に、地域あつての学校という意識をもち、自分たちの住む街を大切にすることの育成を図る。	・ボランティア活動や地域行事への参加、地域での清掃活動の実施など地域で活躍できる生徒の育成を図るとともに、自己の将来を描くことのできるよう、生きる力を高める取組を実施する。 ・地域の人材、地域の力の活用を図り講演会などを実施する。(生き方講演会、職場体験、職業調べ、上級学校訪問、道徳、体験授業など)	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	4 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答90%以上 3 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答80%以上90%未満 2 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%以上80%未満 1 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%未満
特別支援教育	○校内委員会の充実を図り、特別支援教育の視点を踏まえた合理的な配慮を進め、特別な支援を必要とする生徒への丁寧かつ適切な指導を行う。 ○交流及び共同学習を全生徒に実施する。 ○関係機関との連携を緊密に取り、個に応じた支援を充実させる。特別支援教育への理解を深める。	・自他の違いを認識し、個々を尊重する心の育成を図るとともに、障がい者理解や授業、交流及び共同学習を実施する。 ・特別支援教育への理解を深める。・関係機関との連携を緊密に取り、対応や支援のための体制づくりを進める。 ・生徒の困り感など状況の把握することにも努め、全体での共有ののち、個に応じた支援を充実させる。	・運動会や音楽祭などの行事を通し共に取り組むことで、通常級、支援級との交流を実施し、相互の関わりを深める。 ・特別支援学級の教員による啓発授業を通し、障がい者理解を深める。 ・校内分掌組織に特別支援教育部を置き、支援必要な生徒への具体的な支援内容と体制の充実を図る。 ・個別最適学習の実施、別室指導の充実。 ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用や外部関係機関との連携、訪問活動により相談・支援体制を充実させる。	4 校内委員会を月3回以上・啓発教育と支援級との交流を全学年で実施し、対象生徒への支援が適切に行っている ・教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上 3 校内委員会を月3回以上・啓発教育と支援級との交流を全学年で実施し、対象生徒への支援が部分的に実施 ・教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 校内委員会を月3回以上・啓発教育と支援級との交流を全学年で実施 ・教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満 1 校内委員会を適宜実施、啓発教育と支援級との交流を全学年で実施 ・教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	4 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答90%以上 3 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答80%以上90%未満 2 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%以上80%未満 1 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%未満 4 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答90%以上 3 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答80%以上90%未満 2 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%以上80%未満 1 教育活動に関するアンケートで、肯定的回答70%未満
働き方改善	○勤務時間・健康管理を意識した働き方を推進する。 ○服務遵守。 ○休暇取得を促進する。(長期休業中など)	・勤務時間の管理の徹底、健康管理を意識した働き方を推進する。 ・夏季休暇完全取得、年次休暇取得の促進を図る。 ・業務改善について教職員の意識改革を図る。	・教員一人一人が時間を意識した働き方を進め、過当たりの在籍時間の削減を目標とする。 ・会議の精査や学校行事の精選、ライフワークバランスなどについて、自己申告書に具体的な目標を示し、取り組む。 ・服務防止研修、チェックシートの実施を行う。 ・休暇の取得目標を明示し積極的な休暇取得を促す。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	4 教職員の年休習得・退勤時間削減など達成率が90%以上 3 教職員の年休習得・退勤時間削減達成率が80%以上90%未満 2 教職員の達成率が70%以上80%未満 1 教職員の達成率が70%未満